

Ἐμμαοῦς

エンマウース

知っておきたいキリスト教のことば (26)

エマオ えまお

エマオとは、聖書に出てくる地名です。ユダヤにあった小さな村で、その場所はわかっていません。

聖書には「エルサレムから 60 スタディオン離れた」と書かれています。1 スタディオンは 185m ですから、この記述通りだと 11km ほど離れた所となります。しかし聖書の写本の一部には「160 スタディオン」と書かれたものもありますし、ルカ福音書を書いた人自身が、エマオの正確な場所をしらなかった可能性もあります。

現在はエルサレムの北西 23km にあるアムワスなどいくつかの場所がエマオだったのではないかと考えられています。

ところで、聖書の中では「エマオ」という場所はどのように描かれているのでしょうか。

イエス様が復活された後、二人の弟子がエルサレムからエマオに向かって歩いていました。彼らは女性たちが天使から、イエス様が生きておられると言われたこと、墓が空になってしまったことが信じられずにいました。

そこにイエス様が近づいて来て一緒に歩き、弟子たちがすすめるままに、家に入られます。そして食事になって、イエス様がパンを裂かれたときに、弟子たちはそれがイエス様だとわかるのです。

初代教会の人たちにとって、この物語はとても意味深いものだったのではないのでしょうか。エルサレムから彼らは福音を伝えるために出ていきました。不安もあったことでしょう。しかしそこには、イエス様が共に歩んでくださっている。たとえそれがイエス様だとわからなくても、いつも一緒にいてくださるのです。

そしてわたしたち一人ひとりとも、イエス様は共にいてくださいます。パンが裂かれる時に、わたしたちはイエス様を感じるのです。

次回は「選び」です。お楽しみに。



「エマオの晩餐」

ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジオ
(1571~1610年)

二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

(ルカによる福音書 24章32節)

